

町村長会議会議録（発言要旨）

日時 平成24年9月5日（水）10:00～12:20
場所 福島市「県自治会館2階会議室」

- 1 開 会 ※事務局長
- 2 あいさつ ※会長あいさつ
- 3 協議事項 ※会議の議長は町村会長があたる

(1) 双葉地方町村と福島県と国との意見交換会（8月19日）の内容について

【まとめ】

○中間貯蔵施設に関する調査について

- ・ 中間貯蔵施設の考え方にについて、各町村で国の説明を聞く。

○いわき市長への表敬訪問の際、いわき市長より検討を求められた。

- ・ いわき市からの苦情を整理し、広報紙等を利用し啓蒙活動を行う。

○町外コミュニティについて

- ・ 次回は県関係課も入って、各町村で課題を出し合って議論する。

【発言要旨】

◇中間貯蔵施設に関する調査について

- ・ 復興ビジョン作成のためには除染は必要不可欠。
現実問題として、仮置き場の問題は避けて通れない。中間貯蔵施設の方向性は議論して、結論を出さなければならない。（川内村長）
- ・ 国道399号線の期成同盟会要望の時に、いわき市長と一緒に。かなり立腹されていた。楢葉町の貯蔵施設は楢葉町分しか受け入れない件と広野町の減容化施設について、いわき市にこれだけの負担をさせながら、市民の不満を抑えられない。それで仮の町の話を出されても、答えられない。南相馬市でも800人ほど預かっているが、挨拶がないと言われている。（葛尾村長）
- ・ 中間貯蔵施設の考え方は、環境省から正式に聞いたことは1回も具体的に説明がない。幹事会の中で今後の進め方について会議があったが、設置を予定されている町村が環境省と摺り合せをし、その後8+1でやってもいいと思う。幹事会の結果を見てから検討したい。（楢葉町長）
- ・ 去年から復興住宅の申請をしているが、政府の動きが遅い。政局と絡んでどのようになるのか、政府が変わっても動ける方法をとらなければならない。減容施設は早く作りたい。減容施設は他の物は受けない。腹の中では何年か先は考えないといけないのかという考えがある。しかし、政府との交渉なので、政府に減容化施設を作ってもらってからの考え。中間貯蔵施設については、調査は条件として最低限させないといけない。双葉、大熊、楢葉の処理場が新聞に出たが、賛成できない。分散で置くということは、人が全く来なくなると考えている。調査については、急がなければならない。（広野町長）
- ・ 現在、県内・県外の住民で意見が対立しているので、町が割れないように意見を調整中である。区域見直しで安易に妥協したときに町に責任があっては困る。我々は、健康への責任の担保を取っていない。（双葉町長）

- ・大熊町は賛成しているわけではない。中間貯蔵施設については、調査をし議論すべきと思う。この問題は、郡全体の問題としてとらえ、最終的には県がリーダーシップをとって判断してほしい。今回の住民説明会で質問されても国は回答できない。建設予定地についても、現地を見て精査しているかが疑問。国はきちんとした説明と町民を説得できるだけの対応をしないとイケない。安全の担保と説得あるデータを持ってこないと前に進まないと思う。(大熊町長)
- ・放射性物質は、東電の物ということをするべき。除染の確約をとらなければならない。確認すべきことが多いのでまだやっていない。しっかりとした契約行為をしなければならない。(双葉町長)
- ・中間貯蔵施設の考え方について、まだ説明がなされていない。浪江町の場合、瓦礫処理の問題が急務。この施設は、安全性は勿論なぜ、あの場所なのか説明してもらって、安全性の担保を取る必要がある。放射性物質は東電が処理することになると思うが、限界がある。国が責任をもって安全性の担保を取って説明をやるべきと思う。(浪江町長)
- ・住民説明会では、最終処分場の方が問題にする住民が多い。中間貯蔵施設の説明を受け、議論するように対応すべき。住民説明会は、中間貯蔵施設よりも賠償問題に費やした。賠償基準については、批判する声が多かった。政府の対応は非常に無責任である。中間貯蔵施設についての説明を受け、平行して賠償のこともやっていかないと住民の信頼は得られない。賠償が片付かないと住民からの信頼は得られない。(富岡町長)
- ・全ての問題の原点は安全・安心の基準がないこと。中間貯蔵施設についても、きちんとした説明がなされていない。年間1msについても議論して行く必要がある。(葛尾村長)
- ・今までいろいろ議論してきたが、判断するシステムは必要。各町村で説明会を設けてやることは大切。各町村で説明会等をやればどこかで判断して行くことは必要。国と県に任せていいのか。八町村長で調査、説明を受けるというのも判断ではないのか。判断はそれぞれの住民の意見を聞きながら判断するのは必要だと思う。(川内村長)
- ・現在実務者会議がなされているが、実務者会議では結論は出ないと思う(葛尾村長)
- ・中間貯蔵施設に関する説明は受けないとイケない。我々が、判断材料としてどうするかをもう少し先に考えた方がいい。八町村が説明を受けると言うことは、共有している。立地がと言うことではない。(浪江町長)
- ・大熊が指名されたが、この問題は全体の問題である。厳しい問題だが、1つの答えを出さなければならない準備をしなければならない。(大熊町長)
- ・共有するのは当たり前で、その前に段階がある。(楢葉町長)
- ・この場では、説明を聞くと言うことでまとめた。(双葉町長)

◇いわき市長への表敬訪問の際、いわき市長より検討を求められた。

- ・それぞれ郡民は親戚を頼って避難した。1ヶ月経つと邪魔者扱いされたことを大きくしたのが今回のことなので論外では。それよりも、次の項目に移られてはどうか。(楢葉町長)
- ・避難者はゴミの出し方が悪いようだ。各町村の広報紙で啓蒙活動をすべき。(浪江町長)
- ・今のような苦情を教えてほしい。(双葉町長)
- ・いわき市民から苦情が出たということで263件をまとめてあった。あれを整理すればいいのでは。(楢葉町長)
- ・いわき市からの苦情263件を整理し、広報紙等を利用し啓蒙活動を行う。(双葉町長)